

加工食品の国際競争力強化に向けた食品製造イノベーション推進事業

【令和2年度第3次補正予算額 250百万円】

<対策のポイント>

食品製造業の生産性向上を図るため、AI、ロボット、IoT等の先端技術を実際の製造現場に複数導入し、一連のシステムとして実証を行い、その成果を広く情報発信して横展開を図ります。

<事業目標>

食品製造業の労働生産性向上（平成30年度時点から3割〔令和11年度まで〕）

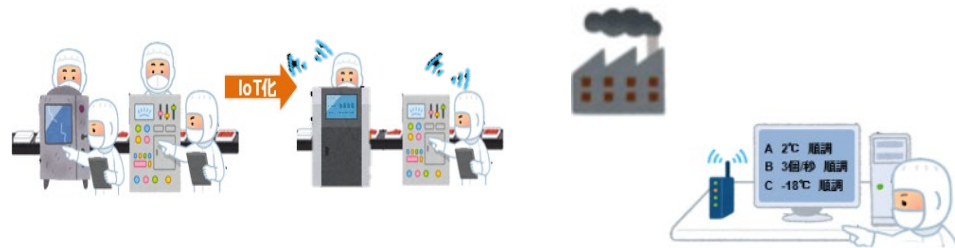
<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 生産性向上に向けた先端技術のモデル実証

240百万円

食品製造業の生産性の向上を目的に、AI、ロボット、IoT等の先端技術を実際の製造現場に複数導入し、生産コスト低減や安全生産に向けた、生産工程の自動化や遠隔での製造モニタリング、品質管理、安全管理など一連のシステムについて実証する取組を支援します。



労働力が半減しても現状の生産力を維持するなど労働生産性を著しく向上させる新システムの開発・実証

遠隔管理・監視

2. 横展開に向けた情報発信

10百万円

上記1の取組の横展開を図るため、実証成果をとりまとめた動画等の作成を行い、研修会やシンポジウムの開催等による情報発信の取組を支援します。



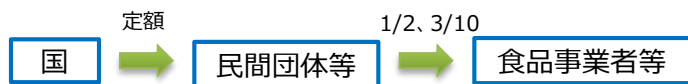
画像処理を用いた自動ヘタ取り機導入による生産性向上



ロボットによる中心温度測定の自動化

生産性向上・安定生産

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 食料産業局食品製造課食品企業行動室（03-6738-6166）